

令和元年度第5回中仙地域協議会会議録

令和2年1月29日

中仙地域協議会

令和元年度第5回中仙地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	3
■協議	3
(1) 市各種計画の策定に伴う説明及び意見聴取について	3
(2) 令和元年度地域枠予算執行予定事業について	5
■その他	7
(1) その他	7
■閉会	8
■署名	8

■日 時：令和2年1月29日（水曜日）午後2時

■会 場：中仙農村環境改善センター2階 農事研修室

■出席委員：13名

伊藤 悟、遠藤 まき、熊谷 亮、佐々木 登代子、高橋 泉
高橋 強、高橋 朝夫、高橋 トモ子、田口 馨、富岡 喜榮
小松 京子、玉井 勝壽、三浦 和則

■欠席委員：4名

秋山 吉雄、伝農 百合子、熊谷 壽男、佐々木 堅一

■出席職員：9名

今 和則（中仙支所長兼地域活性化推進室長）	藤澤 真智子（市民サービス課長）
大阪 文博（農林建設課長）	高橋 千秋（中仙公民館長）
藤原 喜文（農林建設課参事）	進藤 哲規（地域活性化推進室副主幹）
長谷川祐城（地域活性化推進室主席主査）	
新田 雅昭（企画部総合政策課主幹）	小笠原 潤（企画部総合政策課主査）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協議
 - （1）市各種計画の策定に伴う説明及び意見聴取について
 - （2）令和元年度地域予算執行予定事業について
- 6 その他
 - （1）その他
- 7 閉 会

(午後 2 時 0 分 開会)

○事務局（地域活性化推進室） 開会を宣言

○玉井勝壽中仙地域協議会長（以下「会長」と表記）

みなさん本日はお忙しいところお集まりいただきまして、ありがとうございます。令和 2 年のはじめの月も、あと 3 日を残すのみとなりました。今年は天候に恵まれまして、冬を感じない、除雪の苦勞のない日々となっております。このまま大きな変動がなければ良いと思う反面、スキー場のように困っているところもあるようです。観光面を考えると降ってほしいなとわがままな考えをしたりもします。

本日は市の計画説明ということで本庁よりお出でいただいているようです。よろしくお願ひします。みなさんには忌憚のないご意見をお願いしたいと思ひます。本日もよろしくお願ひします。

○今支所長（以下「支所長」と表記）

本日は、お忙しい中、「第 5 回中仙地域協議会」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

改めまして、委員の皆様には、日頃より、市民と行政との協働によるまちづくりの推進の核として、地域の活性化や特色を活かした活動のために議論をいただきながら、各種計画や施策への提言など貴重なご意見をいただいております、この場をお借りしまして厚く御礼申し上げます。

今年は、年はじめから記録的に雪が少なく、皆様、穏やかに過ごしのことと思ひます。このまま穏やかな天候が続き、あたたかい春を迎えられることができればと思ひってしまう今日この頃であります。

市の道路除雪状況につきましては、過去の年間の除雪出動回数は平均 28 回/年ですが、今年は、今日現在で 4 回と 1 月末時点の平均値 19 回に対して、2 割程度となっております。

市の除雪対策費につきましては、朝一斉に除雪に出動しますと、市全体で 1 回の出動につき約 2000～2400 万円の費用がかかり、年間の除雪対策予算は約 12 億円と膨大であります。逼迫している市の財政事情からしますと、除雪回数が少なくてすむことは大変有難いことでもあります。約 12 億円の除雪対策費の内訳は、実際に除雪作業にかかる分のほかに、除雪出動しなくてもかかる除雪機械の管理費などの固定的経費や待機補償費などで、全く出動が無くても予算の 6 割程度が出費されるわけですが、それでも、予算に対して相当額が残ることが想定されますので、その分、他の施策等に充てることができると考えております。

一方、この雪不足により、雪祭りの中止や市営スキー場が、1 月 31 日で営業を終了するなど影響もあちこちで出ております。どうかこの雪不足が、水資源に係る農業等に影響がないように、穏やかな 1 年となることを祈っております。

さて、本日の案件は、地域枠予算執行予定事業 1 件についてご審議いただくほか、ご

案内のとおり、「大仙市人口ビジョン」、「大仙市 まち・ひと・しごと 創生 総合戦略」、「大仙市 総合計画」等について、本日出席している本庁の担当より説明させていただきます。限られた時間ではありますが、これら計画に対しまして、皆様からのご意見やご提言などをいただきますようよろしくお願いいたします。

「大仙市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、平成27年度に策定し、これまで、人口減少対策、あるいは地方創生に関する取組を進めてまいりました。

これらの取組により、新規雇用者数や新規就農者数、移住者数などについては目標を上回る結果となっており、一定の成果を得たものと捉えておりますが、一方で、子育てやまちづくり分野では目標の達成が難しい項目もあり、取組の見直しや強化・拡充が課題となっているところであります。

こうした中、計画期間が今年度で満了することから、計画の検証や社会情勢の変化を踏まえ、更に「大仙市総合戦略推進会議」からのご意見に基づき「第二期」となる「総合戦略」を策定したところであり、直近の人口動向を反映させた新たな「人口ビジョン」とあわせ、皆様にご説明させていただくものであります。

この新たな「総合戦略」は、基本目標のひとつとして「地域の生活を守り、未来につなぐ元気あふれる地域づくり」を掲げており、地域の課題解決に向けた市民活動を応援する地域予算や地域活動の支援などに、引き続き取り組んでまいります。

皆様との連携・協力のもと、地域が抱えている課題を少しでも解消していくことでより住み良さを実感していただける地域づくりを目指すとともに、地域がさらに元気になるように、取り組んでまいりますので、引き続き、お力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

結びになりますが、本日の地域協議会が、地域の課題の解決や協働のまちづくりを実現するため、有意義な実りある機会となりますことをご期待申し上げまして、開会の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。

○会長 それでは次第4の「会議録署名委員の指名」をいたします。中仙地域協議会運営規定第7条第2項により、議長が指名することとなっております。

今回は佐々木登代子委員、高橋強委員にお願いいたします。

次に、次第5「協議」に移ります。はじめに「(1)市各種計画の策定に伴う説明及び意見聴取について」を議題とします。それでは資料にもとづきまして、市総合政策課より説明をお願いします。

○新田大仙市総合政策課主幹（以下「総合政策課主幹」と表記）

小笠原大仙市総合政策課主査（以下「総合政策課主査」と表記）

資料に基づき説明。

○会長　ただいま総合政策課より説明がありました。ご質問、ご意見などございませんか。

○高橋朝夫委員　他の地域協議会でも説明されて、ここ中仙が7番目とうかがいましたが、そこではどのような質問や意見がでたものでしょうか。

○総合政策課主査　午前中に太田の地域協議会で説明させていただきましたが、その際は具体的な構想の中身、どのような方策を行うのかといったご質問をいただきました。また、一番初めに南外の地域協議会で説明させていただきました。その際には、重点政策である子育て分野について、大仙市から引っ越した方がいて、外に出てみて、大仙市の子育て政策がいかにか充実しているかがわかったといったご意見をいただきました。大仙市としましては子育て制度に力を入れておりまして、来年度以降さらに充実させていく予定となっております。あと、地域別の人口推計について先ほど説明させていただきましたが、だしてきてよかったというご意見もいただきました。この件については、地域の人口の上京を知っていただき、その地域に住んでいる皆さんがどのような地域にしていきたいかということを考えていただく事が大事だと考えています。そのビジョンがあって初めて私たちが、こうしていきましょうというお手伝いができるわけですので、住民・団体のみなさんと一緒に考えていきたいなと思っております。

○会長　ほかにございませんか。秋田県は人口もですし、商工業などもワーストの部類に入っていると思いますが、秋田県として地域重点施策、たとえば仙北はこれに力を入れるといったものはあるのでしょうか。

○総合政策課主査　県となりますと広域行政ですので、特定の地域を取り上げるということは難しい面もありますが、仙北地域を所管している仙北地域振興局とは年に何回か意見交換をさせていただいております。豊かな農村という特徴を活かしながら観光など広域的に進めていきたいとの方針を伺っております。

○会長　ほかにございませんか。

○高橋トモ子委員　今日説明された人口推計について、本当にショックをうけました。減少していくことはわかっていましたが、このように数字で出されると、10年後20年後に自分のふるさとはなくなるのではないかという衝撃をうけました。今ここに住んでいる住民自身が危機感をもたなければどうにもならないところにきているのではないかと思います。この統計、推計についてはどこまで公表できるものかわかりませんが、中仙地域だけでもいいので、住民みんなで共有するべきではないでしょうか。

○総合政策課主幹　南外地域協議会で説明させていただいた際も同様のお話をいただきました。私たちよりも、もっと若い世代にこの現状を知ってもらわなければとのご意見で

ざいました。この人口推計については今後公表していくものですので、いろいろな場面で活用していただきたいですし、私たちも周知の方法を考えたいと思います。

○小松京子委員 私の家には外から戻ってきた息子夫婦がいます。今回のテーマについて話を聞いてみますと、やっぱり不便だなどのことでした。一番は学童の料金が高いと。また隣の美郷町では利用しなければ料金が減額されるのに大仙市は一律料金のままだと。このことを支所に聞いてみましたら、大仙市として統一で決められていることなのでどうにもできないとのことでした。定住には子育て環境がかなり大事だと思いますが、そこがあまりよくないのではないかと思います。

また、説明の際にスマート農業のお話がありました。こういったものを推進する事は大変良いことだと思いますが、そうすると小規模農家にはあまり目をむけてくれないような感じがします。

最後に、農業と食に関する活性化構想ということができましたが、これはどういった構想なのでしょう。

○総合政策課主幹 1点目ですが、特定の部分だけを見ると大仙市よりも充実したところがあるとは思いますが、大仙市としては、出会いから結婚、子育てまでと言う事でこの分野に力を入れております。児童クラブにつきましては、一番安いと言われてますとそうではないかもしれませんが、大仙市としましては待機児童対策に力を入れて取り組んでおります。今回いただいたご意見については、担当課のほうにお伝えさせていただきます。

2点目のスマート農業につきましては、小さな農家を支援しないというわけではないですし、大規模な農家しかスマート農業ができないというわけでもありません。今後、担い手が減少したときを考えて、一つの方策として提案させていただいているものです。

最後に農業と食に関する活性化構想につきましては、大仙市の主要産業であります農業について、これに関連して「食」というものをアレンジしてイノベーションできないかと。お酒や醤油、味噌というような大仙市として強みとなる部分を強化していこうということで、現在策定している最中で4月には公表できるのではないかと思います。

○会長 ほかにございませんか。

(なし)

それでは以上で「(1)市各種計画の策定に伴う説明及び意見聴取について」を終わります。所用により、説明いただいた総合政策課のみなさんは退席となります。本日はありがとうございました。

次に、「(2)令和元年度地域枠予算執行予定事業について」を議題とします。担当課長より説明をお願いします。

○藤澤市民サービス課長(以下「市民サービス課長」と表記)

資料に基づき説明。

□実施類型 市民協働型

1. 清水地区安全見守り活動

申請団体 清水っ子身守り隊（市民サービス課）

事業目的 清水っ子身守り隊は、清水小学校の子ども達の安全な下校を支援するために平成17年に結成。

年間をとおして毎週1回、子ども達の下校時間に合わせてパトロール活動を行い、活動終了時に活動ルートや注意点、気が付いた事項等を報告書にし、校長と協議。学校と密接に連携し、効果的な見守り活動を行っている。隊員は現在10名（清水地区民生児童委員7名、ボランティア3名）。

事業概要 見守り活動に必要な物品が購入後10年以上経過し破損が見られるため、今回更新（作成）するもの。

・作成物品	ブルゾン	10着
	反射ベスト	10着
	反射帽子	10個
	マグネットシート	6枚

・作成期間 令和2年2月末まで

事業費 114,290円（委託費）

○会長 ただいま「(2)令和元年度地域予算執行予定事業について」説明がありました。委員の皆さんの質問をお受けしたいと思います。

○高橋朝夫委員 説明いただいた清水っ子身守り隊の活動は本当に素晴らしいと思います。他の地区でもたまにステッカーを貼った車を見かけますが、他の地区の状況はどのようなものでしょうか。

○遠藤まき委員 資料にありますとおり身守り隊のできた平成17年頃は各地区で活動していましたが、現在まで団体として残っているのはこの清水っ子身守り隊だけです。学校と密に連絡を取り合っただけで地域を守っていかうという取り組みで、ステッカーを貼って区内を回ることによって抑止力にもなっていると思います。

○高橋トモ子委員 私は中仙小学校の見守り活動を行っていますが、現在3人しかいません。全校の父兄にお願いしてもなかなか集まらないようです。ですので、この清水っ子の活動は本当に素晴らしいと思います。

○高橋強委員 前は市でも青色パトロールということで地域内を回っていたと思いますが、現状はどうでしょうか。

○市民サービス課長 定期的に見回りを行っています。

○会長 同じようなことは学校でも自治会でも行っているところもあると思うのでゼロではないかと思いますが、このようにして続けているのは素晴らしいと思います。

ほかにごいませんか。

(なし)

それでは市民協働型「清水地区安全見守り活動」について、承認してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ご承認いただきました。

以上で「(2) 令和元年度地域予算執行予定事業について」の審議を終わります。

次に次第6「その他」に移ります。委員のみなさんからなにかごいませんか。

○高橋強委員 先ほどの総合政策課よる人口推計ですが、長野地区ということでだされていましたが、細かく鏡見内、鶯野という単位でもだしていただければ、住民にも理解し易いのではないかと思います。

○高橋朝夫委員 おそらく小学区ごとに作成されているのではないのでしょうか。

○高橋トモ子委員 これが公表され、全戸配布されるときには、カッコ書きで良いのでわかるようになればと思います。

○会長 ほかにごいませんか。

○高橋泉委員 中仙中学校の近くの道に、除雪ポールの先に光るライトのようなものがついているのを見かけます。すごく目立つので吹雪で道がホワイトアウト状態になった際にあれば、とても良いのではないかと思います。

○大阪農林建設課長（以下「農林建設課長」と表記） 経費がどのくらいというものはわかりませんが、危険箇所を設置でいきるものかどうか検討したいと思います。

○会長 ほかにごいませんか。

○高橋トモ子委員 先日、ドンパルの映画祭を見てきました。本当にいい映画でしたので、もっとPRしてたくさんの人に見ていただきたいと思いました。

○高橋中仙公民館長（以下「中仙公民館長」と表記） ドンパルには映写設備がありまして、そのメンテナンスも兼ねて実施しています。中仙地域内には広報と一緒にチラシを全戸配布していますが、客入りについては常連の方は来ていただけますが、なかなか多くの人にはできていない状況です。来年度も実施予定ですのでPR方法などを検討したいと思います。

○会長 ほかにございませんか。

○小松京子委員 清水公民館が新しくなったわけですが、利用する者として、トイレに手拭設備がないゴミ箱がないという状況ですごく不便だなと感じますし、まわりの利用している方からも同様の話を聞きます。なんとかならないものでしょうか。

○中仙公民館長 清水公民館は新築されたわけですが、ご指摘の設備については予算の関係もあり設置しておりません。今後、予算を見ながらとなりますが検討させていただきます。

○高橋強委員 鎌見内公民館では、手拭に関してはタオルを常備して、使用後に使用者が洗って次の方が使用できるようにしておくというルールです。ゴミに関しては、基本的に使用者に持ち帰っていただくということにしています。

○会長 ほかにございませんか。

（なし）

ないようですので、次第6「その他」を終わります。

以上で、本日より予定された協議等は全て終了となります。本日は長時間にわたりご協議いただきまして、誠にありがとうございました。これをもちまして令和元年度第5回中仙地域協議会を終了いたします。お疲れ様でした。

（午後3時47分 閉会）

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員
